

見まもり隊のおじいさん・おばあさん

学校からのかえり道、

「おかえり。」

「きょうも学校でたのしいことがいっぱいあったかな。」

「気をつけてかえりよ。」

ニコニコとした顔で、ぼくたちに話しかけてくれる田中さんや山川さん。見まもり隊のおじいさんやおばあさんです。あつい日も雨の日も、毎日ぼくたちのことを見まもってくれています。

ある日、おわりの会の前に、ぼくは大のなかよしのけんちゃんとおげんかをしてしまいました。それでだれとも話したくなくて、下をむいたまま、いそいで家にかえっていました。

おうだんほどうのところで、

「おかえり。」

山川さんのやさしい声が聞こえてきました。

「しんどいのかな。」

田中さんの声も聞こえてきました。

でも、ぼくは、もっと早足でかけだしました。



夕食の前、けんちゃんから電話がかかってきて、なかなかおりができました。あした、あそぶやくそくをしました。

うれしくなって、すっきりした気持ちになりました。

でも、そのあと、山川さんたちのニコニコした顔が、きゆうに頭の中にかんできました。夕食をたべていても、頭からきえませんでした。

つぎの日の学校がえり、いつものように、田中さんと山川さんがニコニコした顔でまってくれていました。

「おかえり。」

「きょうも学校でたのしいことがいっぱいあったかな。」

いつものやさしい声です。

ぼくは、田中さんと山川さんの顔をしばらく見つめていました。

そして、

「とつてもたのしかったよ。」

と、大きな声でこたえました。

